

開催月日 : 平成 28年 9月 26日

平成28年度第2回
定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス連携推進会議

時間	am/pm 10:00	am/pm 11:00	場所	かんだ連雀B2会議室
司会	浅見 達也		書記	尾崎 正紀
出席者	○千代田区高齢介護課介護事業指定係：●●●●様、●●●●様			
	○千代田区社会福祉協議会：●●●●様			
	○千代田区高齢者あんしんセンター：高橋誠様(神田地区)			
	○千代田区かがやきプラザ：我妻亜弥乃様			
	○医療機関：●●●●様 (●●病院)			
	○知見を有する者：●●●●様、●●●●様、山田真理様			
	○地域住民の代表者：●●●●様、●●●●様			
	○指定事業者			
	かんだ連雀いつでもサポートサービス：峯俊美、浅見達也、尾崎正紀			
会議内容	① 開会の挨拶 かんだ連雀：峯俊美			
	② 取り組み事例発表 かんだ連雀いつでもサポートサービス：尾崎正紀			
	③ ご出席者皆様よりご意見・講評			
	④ 閉会の挨拶 かんだ連雀：峯俊美			
詳細	②			
	取り組み事例発表			
	●連携推進会議資料 (詳細は別紙①参照)			

詳 細
① 開会の挨拶
かんだ連雀：峯俊美
○今年度から、この連携推進会議は各事業所別々での開催とさせて頂いております。
地域の方々がよりよく在宅生活を続けられるよう、定期巡回サービスを掘り下げるためにも勉強会を行っております。訪問介護の延長線上に定期巡回があるのではなく、在宅生活の延長として我々がお手伝いできることは何かを勉強会では学んでいるところです。今回の事例も勉強会で検討したものとなります。まだまだ過程ではありますが忌憚ないご意見をお待ちしております。
② 取り組み事例発表
かんだ連雀いつでもサポートサービス：尾崎正紀
○資料説明（別紙①参照）
③ ご出席者皆様よりご意見・講評
●●●●様：社会福祉協議会
○本人の様子を地域の方が連絡頂いたり、現場の声が反映されている点がよい。
私どもも、金銭管理の支援などで係っていく中から変化の声を上げていくのは重要だと思います。
配食弁当を導入するだけでは簡単なことで、今後の体重の変化を注視していくことが大切です。
●●●●様：地域住民の代表者
○私どもでは「ふれあい食事サービス」や「なでしこ弁当」の提供を行っていますが、少しでも環境を変えてあげれば食事への意欲も湧くのでは、と思いますので参加をお持ちしております。
この辺りですと神保町やかんだ公園などで催しております。
●●●●様：地域住民の代表者
○同じような境遇の住民が私の町内にもいらっしゃり、町会側としてはどう対処していいか対応に困ったことがありました。「人間をやめたい」と発言されたり、訪問介護サービスを導入しても「ヘルパーは掃除をざざっとしかしない。あれじゃあ掃除したことにはならないよ」とサービス提供にも拒否があった。この事例のように色々と試行錯誤して頂けると助かると思います。

●●●●様：医療

○病院に入院中でも食事を摂らない方がいます。ラコールやメイバランスといった栄養補助食品だけでは体重が減ってしまうことが多い。やはり食事をしっかり摂らなければならない。

●我妻亜弥乃様：千代田区かがやきプラザ

○その方に対してどのような支援を行うかは、地域福祉の会議があります。地域で何ができるか、ご提案して頂ければ、専門家の支援と合わせて協力できますのでお声掛けください。

●高橋誠様：高齢者あんしんセンター

○個別な専門家の指示した援助内容ではなく、さまざまな分野の特異とする人材が集結する定期巡回ならではのアプローチになっていると考えます。

④閉会の挨拶

かんだ連雀：峯俊美

○くしくも、かんだ連雀 今年の事業所全体のテーマが「社会資源を含めた様々な生活支援サービスの提供」であり、「地域包括ケアの充実」でした。まさにテーマに沿った事例内容であったと思います。今後も利用者に寄り添い、多様なニーズに応じたアプローチを心がけてまいります。

以上